

平成20年4月30日

南海電気鉄道株式会社

南海電鉄とJR線との連絡通学定期乗車券の誤発売について

南海電気鉄道株式会社（本社：大阪市中央区 社長：巨 信二）では、当社線とJR線（JR西日本）との連絡通学定期乗車券発売時に、JR線区間の学生区分を誤り、割り引くべき定期運賃を過剰に収受していたことが判明しました。誤発売の対象となったお客さまには、定期券購入申込書をもとに、当社からご連絡させていただき、過剰収受分をご返金するとともに、正当な定期券を発行させていただきます。

ご利用のお客さまには、ご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げますとともに、詳細につきまして下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 誤発売の概要

当社は、通学定期券の学生区分が、「小児（小学生）・大人（中学生、高校生、大学生、専門学校等）」の2区分であるのに対し、JR線は、「小学生・中学生・高校生・大学生（専門学校等を含む）」の4種類になっております。この学生区分を誤って発売したケースがあり、誤った運賃での発売となっております。

2. 判明の経緯

他の鉄道会社で同様の事例が発生したことを受けて、当社で調査を実施した結果、誤発売の事実が判明しました。

3. 原因

係員の定期券発行機器操作時及び発売時の確認不足によります。

4. 対象となる定期券

(1) 定期券の種類

- ・当社線とJR線区間を1枚で発売した連絡通学定期券のうち当社で発売したもの
- ・当社三国ヶ丘駅又は和歌山市駅で発売したJR線区間の通学定期券

(2) 該当駅数

南海線 17 駅

難波、新今宮、天下茶屋、住吉大社、堺、石津川、羽衣、泉大津、忠岡、春木、岸和田、貝塚、泉佐野、尾崎、みさき公園、和歌山市、りんくうタウン

高野線 11 駅

住吉東、堺東、三国ヶ丘、中百舌鳥、初芝、北野田、大阪狭山市、金剛、河内長野、三日市町、橋本

(3)対象人員及び件数（いずれも誤発売の可能性のある最大の人員及び件数[継続調査中]）

【直近1か月】（平成20年4月1日～4月27日まで）

40名 40件

【直近7か月】（平成19年10月1日～平成20年4月27日まで）

103名 163件

(4)過剰収受額（いずれも誤発売の可能性のある最大の金額[継続調査中]）

【直近1か月】（平成20年4月1日～4月27日まで）

44,320円

【直近7か月】（平成19年10月1日から平成20年4月27日まで）

130,040円

5. お客さまへの対応

過剰に運賃を収受していたお客さまには、定期券発売時に登録された情報をもとに、当社からご連絡させていただき、過剰収受分をご返金した上で正当な定期券を発行させていただきます。

本件に関するお客さまのお問い合わせ先

南海電鉄 運輸部 業務課（9：00～17：00）

電話 06-6644-7264

6. 再発防止策

(1)通学定期券発売時の機器操作について、係員への指導を再徹底いたします。

(2)通学定期券発売時にご購入者との相互確認を徹底いたします。

(3)お客さまから学生区分を記入していただくように定期券購入申込書の書式変更を検討いたします。

7. その他

下記の定期券につきましては、今回の誤発売の対象外となります。

- ・通勤定期券
- ・当社線内発着となる通学定期券
- ・JR線を含まない連絡通学定期券
- ・大学生、専門学校生の通学定期券

以上